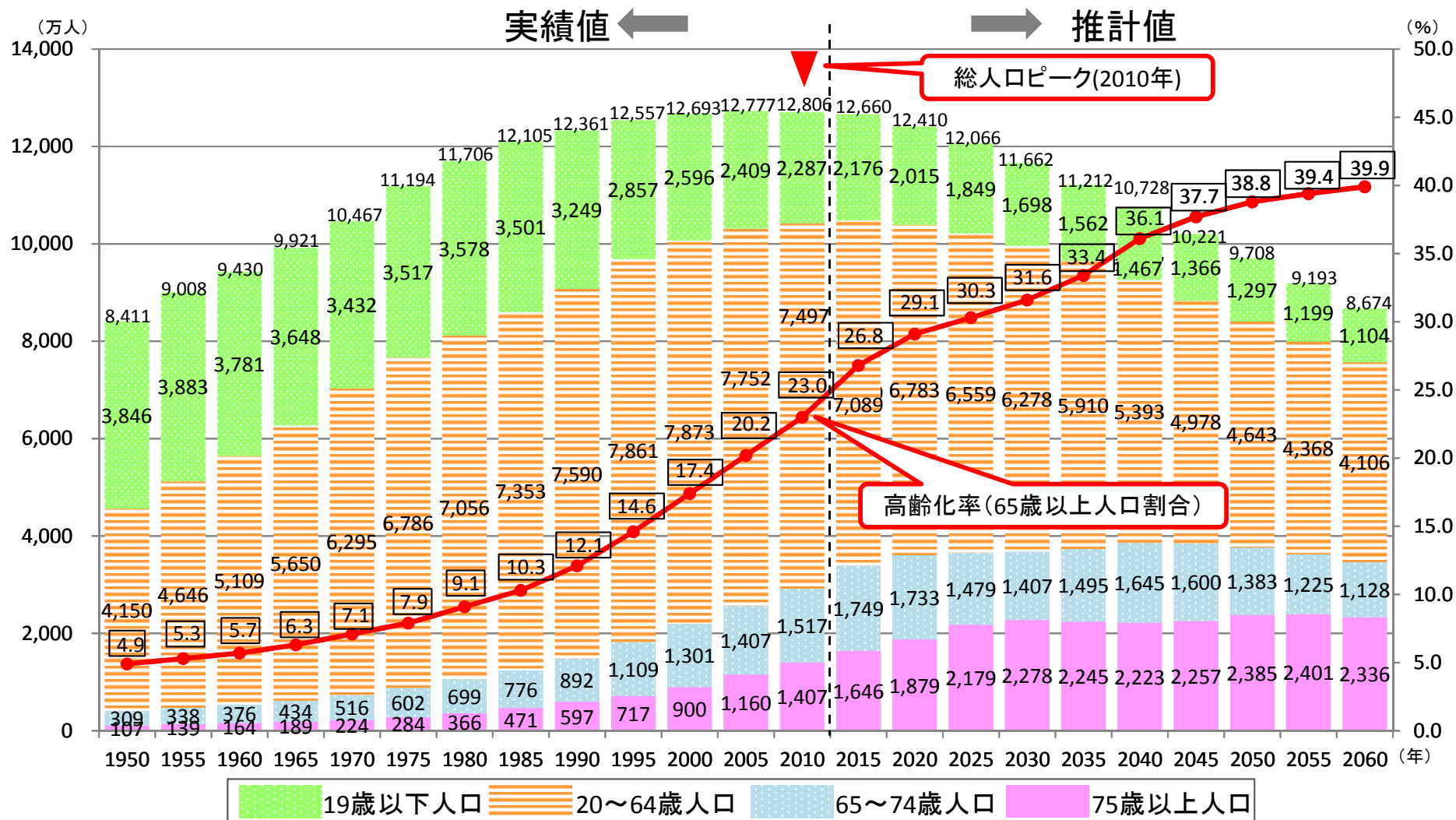


# 将来推計人口等

## (1) 日本の人口推計

○今後、我が国の人口は減少する一方で、高齢人口(65歳以上)割合は大きく増加し、生産年齢人口(14~64歳)は大きく減少する見込み。



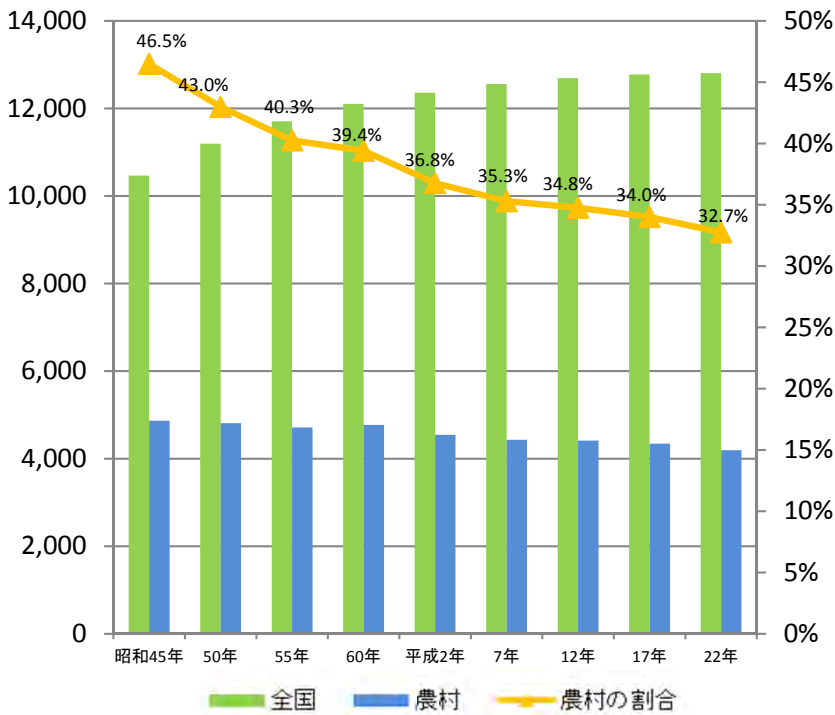
資料: 2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果)

## (2) 農村における人口推計

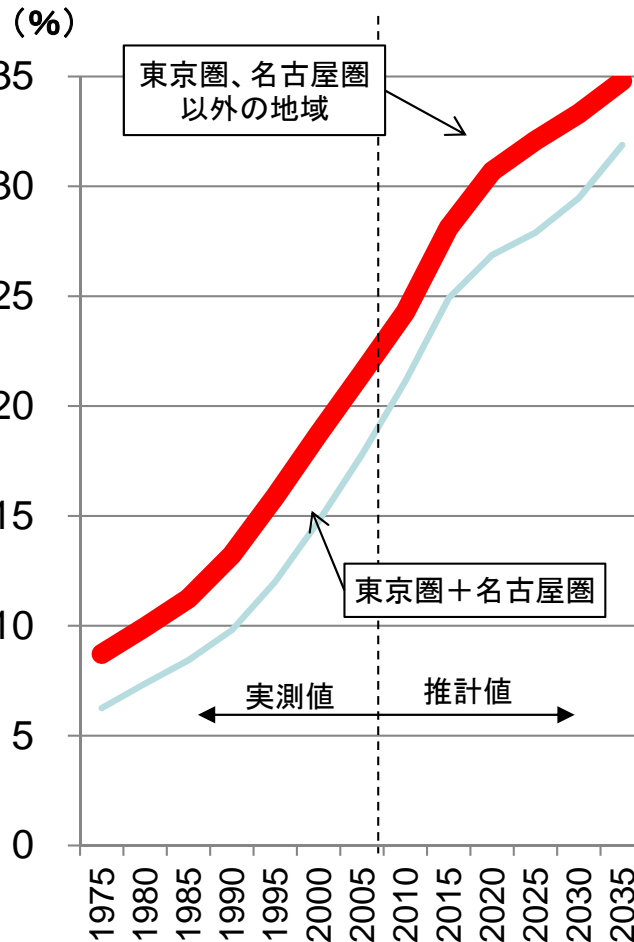
○農村人口が総人口に占める割合は3割程度。

○今後、都市圏に比べ、顕著な高齢人口増加率の増加、生産年齢人口率の減少が見込まれる。

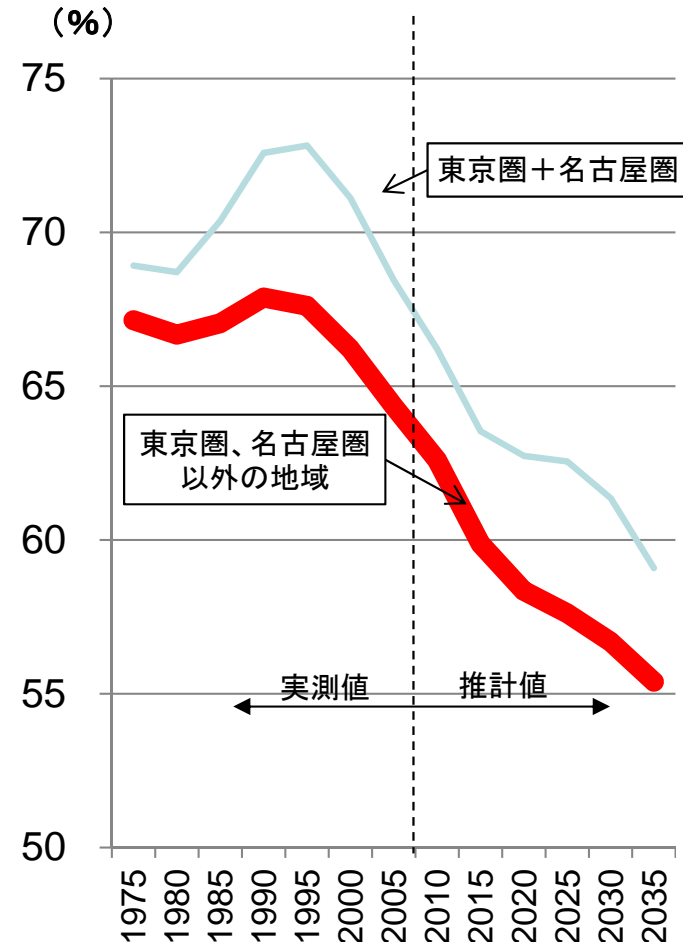
【農村(非DID)の人口の推移とその割合】



【高齢人口(65歳以上)の割合】



【生産年齢人口(14~64歳)の割合】

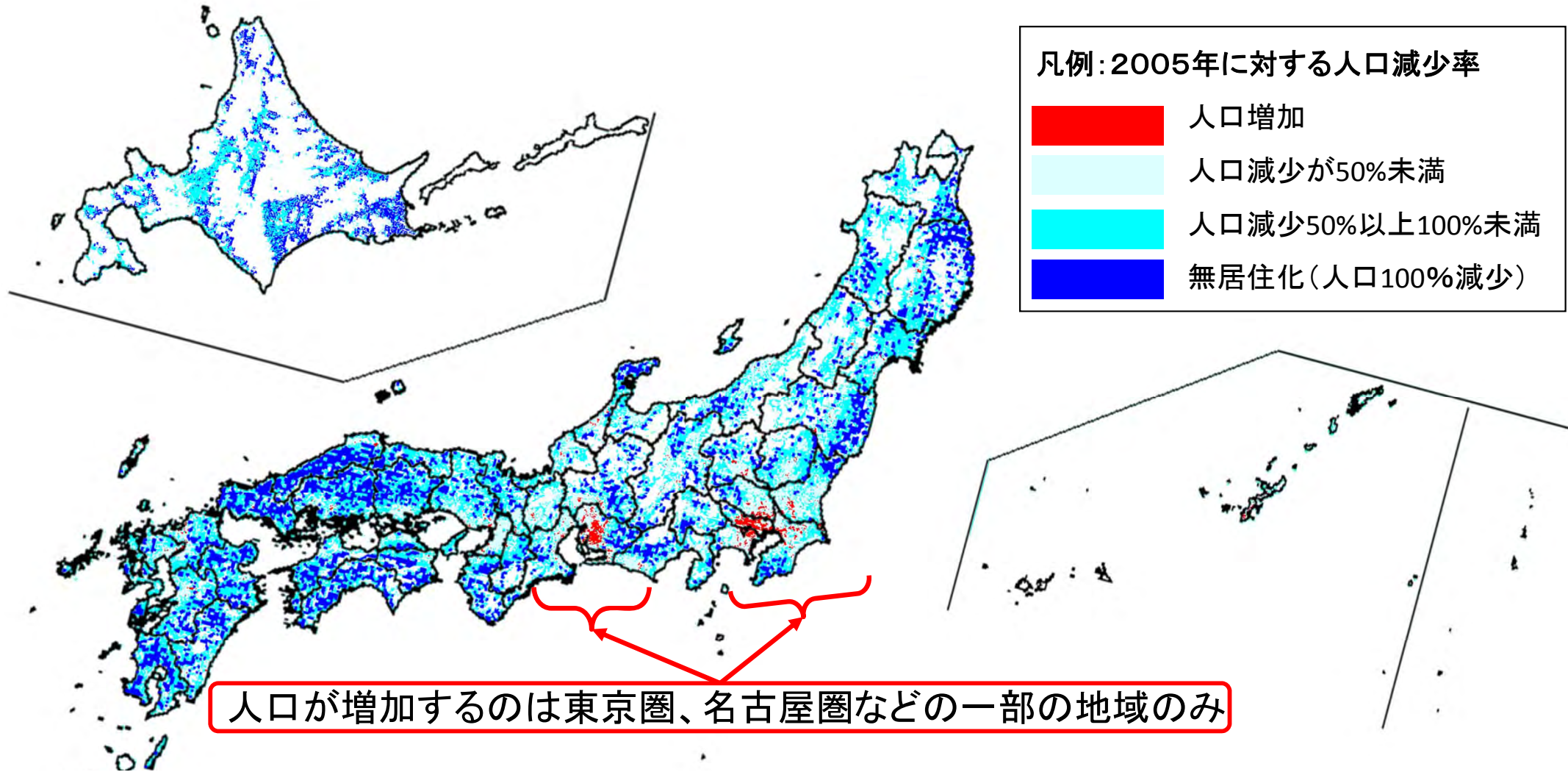


※国勢調査における人口集中地区(DID)以外を農村とした。

資料: 国立社会保障・人口問題研究所将来推計「2012年版『人口統計資料集』」および「『日本の都道府県別将来推計人口』(平成19年5月推計)」より

### (3) 2050年における人口の増減状況

○人口の減少が続く中2050年までに主に地方圏で人口減少・無居住化が進む一方、人口が増加する居住地域は東京圏及び名古屋圏に集中。



資料: H23.2.21 国土審議会政策部会長期展望委員会資料より抜粋改変

・総務省「国勢調査報告」、国土交通省国土計画局推計値(メッシュ別将来人口)をもとに、コーホートを用い、出生と死亡にかかる「自然増減」及び転出入にかかる純移動の「人口変動要因」のそれぞれについて将来値を仮定し推計。

・2005年を100とした場合の2050年の人口割合を1km<sup>2</sup>区画でプロット(白色部分は1km<sup>2</sup>あたり人口がデータ上1人に満たない場合)。